

日本全国 活動だより

▼北海道

の活動だより

負けてたまるもんか…

越野 義貴(HBC)

早いもので自粛自粛の行動制限もそろそろ二年近くになりま
すね。これが発行される頃には
第六波がどうなっているか結果
が出始めていると思いますが、執
筆時点では徐々に平常を取り戻
している感もあり、筆者が所属
している合唱団も、ほぼ一年半
続いた休会と活動再開後の隔週
時短という変則スケジュールを、
十一月から毎週実施、フルタイ
ムの平常活動に戻したところで
す。

十月末の釧路出張では、仕事
の合間に二八年ぶりに再会した
旧友と二人でシャンペン一本、ワ
イン二本、更にウイスキー適量
を嗜んで三軒はしごのうえ、何
十年ぶりの午前様をやり遂げ
てきましたが、昼間はともかく
夜の繁華街はそれなりに賑わっ
ています。更に釧路港では市民
の士気高揚のイベントとしてオリ

ンピックでお馴染みのドローンショ
ーや花火大会などの準備中で、
作業中の市職員の方とお話しし
た雰囲気からも草の根の逞しさ
と熱さを感じ取ってきたところ
です。

さて当北海道民放クラブは：
と振り返ってみれば、一昨年、昨
年と総会は勿論のこと親睦会も
同好会活動も悉く全滅！

主催イベントの目玉である、各
社の話題になった番組をライブ
ラリーから持ち寄って制作担当
者の解説付きで上映する「ドキュ
メンタリー上映会」も企画しては
消滅の繰り返しでしたが、これは
会員のみならず一般の方々にも
公開して大変好評を頂いている
イベントなので、今年こそはなん
としてでも満を持して復活させ
たいと願っています。

この様な状況下ですが、会員
同士の交流のよりどころである
「会報」だけは、内容を充実させ、
発行回数も増やして今まで以上
に「濃いもの」に盛り上げるべく、
編集委員一同、獅子奮迅の勢い
で(少々大袈裟かな)頑張ってい
るところです。

三年前、会報を内製化するべ
くパソコンシステムを一新し、パソ
コン二台と業務用プリンターの
ラインナップで編集から印刷ま
で全て自家出版で賄っています
が、インシャルコストは既に回収し、
作業による人的交流のプラス面
もあって、やってよかった事業の
一つだと自負しています。物理
的に時間がかかる印刷待ちの間
に、美酒と乾き物のおつまみを
愛でながら喧々囂々、侃々諤々、
和気藹々やっていると時間の経
つのも忘れてあつという間に印刷
が完了しているという誠に有り
難い仕掛けで、これぞ最高の人
的交流といえるでしょう。ただこ
のところは例によって自粛の波に
呑み込まれているので、この復活
も切に願っているところです。

忘年会は既に無理としても、
新年会は何とか開催したいとい
う願望はありますが、今回も見
送りが妥当かも知れません。し
かし四月の総会開催をもって万
事平常通りシャンシャンと行き
たいものです。

冬期間はアウトドア活動が大
幅に制限される北海道特有の

気候条件のもと、本格的な活動
は雪融けを待たなければなりま
せんが、あと三ヶ月の辛抱、着々
と実施の構想を練りつつありま
すので、準備万端シーズンインを
待ちたいと思います

もうみんな、それほど若くな
いんだから…いい加減コロナとの
付き合い方も習得した今、負け
てたまるもんか！



会報の表紙と編集・印刷システム